

## 札幌北高校で学んでみよう

北海道札幌北高等学校長 黒田 信彦

札幌北高校は道内屈指の伝統校であり進学校として、今年で創立110年の節目の年を迎えました。生徒は毎年、北大をはじめ全国各地の大学に進学し、我が国や世界の有為な人材となって幅広く活躍しています。

皆さんもご存知かと思いますが、旧制高等女学校時代の世界を代表する画家の片岡珠子さんをはじめ、JR東日本の代表取締役会長を務めた松田昌士<sup>まさたけ</sup>さん、NTTドコモの社長・会長を歴任されiモードの生みの親である大星公二<sup>おおほし</sup>さんなど、各界のリーダーとして活躍されている多くの先輩方がいらっしゃいます。

本校では、65分間の5時間授業を実施することで授業内容の充実に努めています。進度が早く毎日の予習や復習を欠かすことは出来ませんが、生徒の進路実現に向けて教師陣は懇切丁寧な指導を行っています。



そして、生徒のほぼ全員が国公立大学を目指している進学校ですが、決して受験校ではありません。学校行事も充実しており、体育祭をはじめ行灯制作による伝統的な学校祭、全校で綱引き大会を行う「ほのぼのの行事」など特色ある行事を継続しています。また、部活動も盛んで、特に合唱部をはじめ多くの部局は毎年全国大会に出場し上位の成績を収めており、ハイレベルな活動は全国でも注目されています。

教育課程は3年生から文系と理系に分かれますが、全人教育を行う観点から、2年生までは選択科目を設定するだけで進路別の類型は設定していません。

発展的な学習では、本校の先輩を講師に招いた「彩風塾」をはじめメディカル講座、数学・物理ゼミナール、北大での授業聴講講座、東大ライブ授業、札幌医科大学体験講座など、大学や研究機関、OBなどと連携した各種の事業を継続しており、将来の進路実現に向けたキャリア教育を幅広く行っています。

また、生徒会活動も盛んであり、多くの生徒が執行部に加入して優れたリーダー性を発揮しており、後輩の面倒を温かく見てくれる素晴らしい先輩たちも揃っています。

私は、身に付けて欲しい力として、高い学力、豊かな人間性、健全な心身、豊かなコミュニケーション能力、高度なプレゼンテーション能力を掲げ、生徒の皆さんが真のエリート・真のリーダーとして我が国や世界をしっかりとリードできる人材になってくれることを期待しています。

校訓『寛容・進取・良識』に則り、自分らしさを発揮しながら人間力を高めることができるこの誇り高き名門札幌北高校で、是非学んでみたいという諸君の入学を心から歓迎します。